

・天草五橋の橋としての特徴

4.前島橋 (まえじまはし)

所在地：上天草市松島町

アクセス：天草パールラインが大池島と前島を結ぶ橋

形式：5径間連続プレストレスト・コンクリートラーメン橋

橋長（径間）：520m（最大146m）

幅員：6.5m

完成年：1966（昭和41）年

特長：ヤジロベエ工法に

よる5橋の中で

もっとも長い

支間146mは

世界第4位



・天草五橋の橋としての特徴

5.松島橋 (まつしまばし)

所在地：上天草市松島町

アクセス：天草パールラインで、前島と天草上島を結ぶ

形式：鋼 2 ヒンジパイプアーチ橋

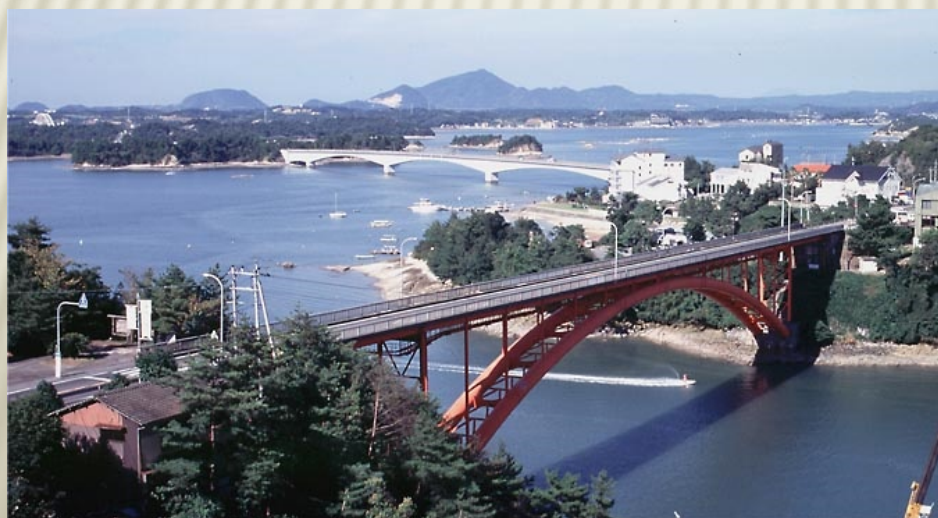
橋長 (支間)：178m (126m)

幅員：6.5m

完成年：1966 (昭和41) 年

特長：本格的なパイプアーチは**日本初**

松島橋を渡った標高162mの千巖山[せんがんざん]
展望台から天草5橋全景が見渡せる。



Ⅲ・天草五橋 架橋の効果 (1/2)

- ・ 島民の一人当たり年間所得
 - 1960 (昭和35) 年 (開通6年前) ￥65,000
 - 1973 (昭和48) 年 (開通7年後) ￥517,000

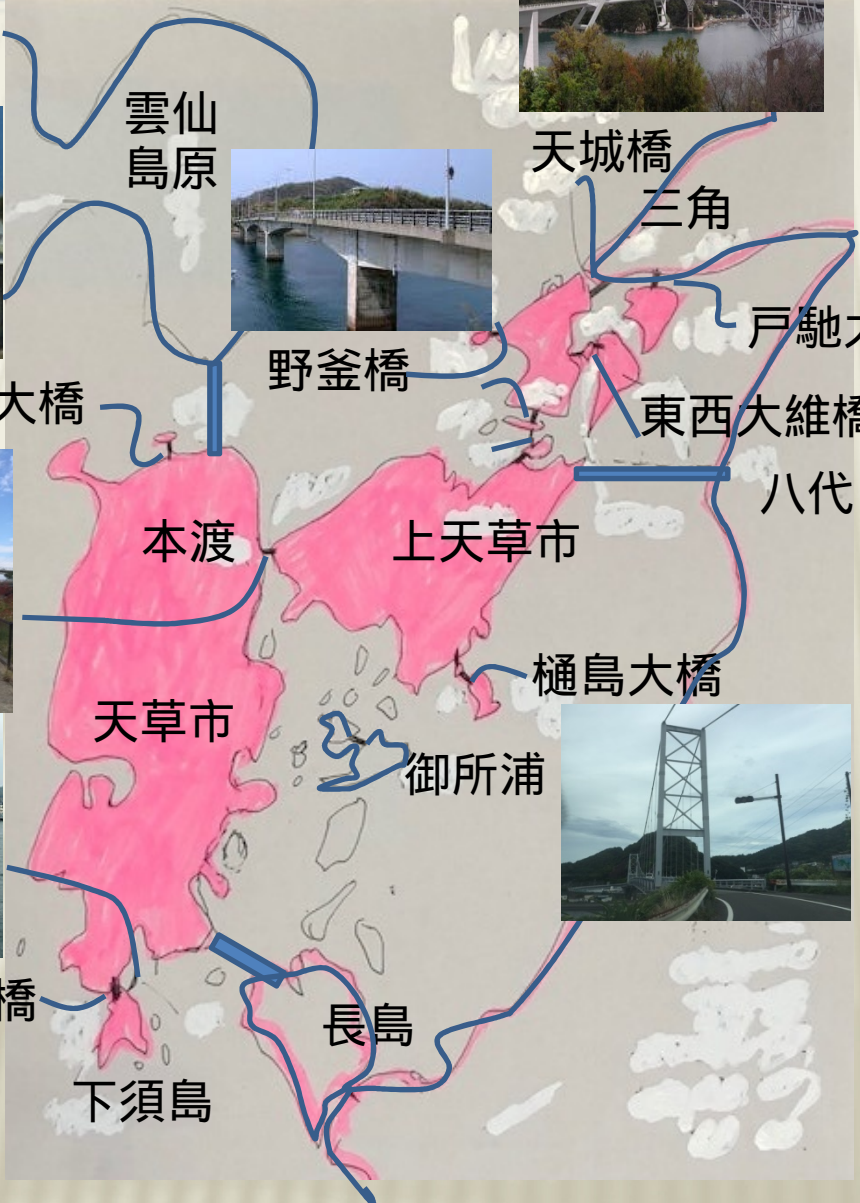
開通前後の13年で8倍、県民所得の82%
- ・ 商店の年間販売量 127億円 (昭和39年) から
638億円 (昭和49年)
- ・ 農業祖生産額 71億円 (昭和40年) から
143億円 (昭和48年)
- ・ 漁業生産量 23 t (昭和41年) から
8500 t (昭和60年)
- ・ 天草への進出企業 昭和56年までに21社
雇用人口1500人余

天草五橋 架橋の効果 (2/2)

- ・ 開通前年の観光客54万人 翌年に200万人超
- ・ 天草全域の車台数3千台の時に、
開通時1万3千台が五橋を利用
- ・ 自動車保有台数 4900台（昭和40）から
14700台（昭和45）
- ・ 道路整備率 28%（昭和44）から
88%（昭和49年）
- ・ 鮮魚その日に都会へ
- ・ 30航路あった九州各地への船便は11航路に
- ・ 大矢野、松島、**姫野**、竜ヶ岳が上天草市に

・ 開通50年後の天草の現状

1. その後の天草の橋



天草五橋	1966年
通天橋	1971年
樋島大橋	1972年
戸馳大橋	1973年
本渡大橋	1974年
西大維橋	〃
東大維橋	1975年
通詞大橋	〃
野釜橋	1980年
ハイヤ大橋	1997年
天城橋	2018年

TA 11 開通50年後の天草の現状

2 . 一般的状況

- ・ 開通時20万人だった天草全土の人口は
12万人を切った

人口流出と少子高齢化

- ・ 観光客数は伸び悩み、390万人～440万人
- ・ 市民所得は、県平均の約8割にとどまる
- ・ 平日でも1万7千台超が利用、週末、GW、夏休み には渋滞が常態化
- ・ 五橋は法定寿命（50年）を超えた

五橋を取り巻く現状

橋の法定寿命は50年、経年劣化が進行
補修・補強工事の交通規制により

大規模渋滞が発生

耐震補強が不十分で、被災すると天草地域
は長期間孤立し、地域経済に壊滅的な
ダメージを与える

国道266号線は、天草と地域外を結ぶ唯一の
陸路で、交通量は2万台/日を越え、日常的
に渋滞が発生

天草全域が高速インターから30分圏外
熊本空港、新幹線駅等の高速交通アクセスが不便

天草の次の展開と橋の役割

1. 美しいそして美味しい天草**構想**

(平成26年 熊本県天草広域本部)

- ・ 目指す姿：幸せを実感できる天草
- ・ 美しい**自然**を生かす
松島の景観、オリーブの島、農林産物の
ブランド化
- ・ 豊かな**海**と共に生きる
イルカウォッチング、天草エアライン、
水産物（ひじき、ふぐ、マグロ、オイスター）
- ・ **歴史文化**を楽しむ
崎津集落の世界文化遺産登録、富岡城、牛深ハイヤ
天草陶磁器、イチジク（南蛮柿）、天草ジオパーク？
- ・ ゆったりと寛ぐ幸せな**暮らし**
宇土半島との連携強化、ヘルスツーリズム、
移住定住促進

天草の次の展開と橋の役割

2 . 熊本天草幹線道路の建設

1) 概要

- ・ 地域高規格道路(高速道路に次ぐ自動車専用道)
- ・ 熊本市近見から本渡市街まで約 7 0 k m
熊本～三角間 (32 k m) は国が整備し、
三角～本渡間 (38 k m) は県が整備する
- ・ 県土 9 0 分構想の実現
- ・ 早期整備の手法：民間資金による事業化
大矢野～松島 (180～200億円) 未着手
有明～本渡 未着手